

なし管理情報 No.3

令和7年4月10日
下野方梨組合
魚津市農業協同組合
富山県新川農林振興センター



1. 開花状況

- 「豊水」の開花始めは4月11～12日頃の見込みで前年、平年並の見込み。
- 「幸水」の開花始めは4月14～15日頃の見込み。

【果樹研究センター開花予測】R7.4.7現在

年次	豊水	幸水
	開花始	開花始
R7年	まもなく	4/14～15 (予測)
R6年	4/12	4/15
平年	4/13	4/17

※ R6年値は果樹研究センター実測値
平年値は過去20年間のデータから算出

2 病害虫防除

<ポイント>

- (薬剤散布) 今後の散布は、散布間隔10日を目途に、散布間隔があきすぎないように実施し、薬剤のかかりにくい園地周囲を中心に補正散布を実施する。
- (黒星病対策) 呉羽地区の黒星病のモニタリングを行っている園地では、まだ黒星病子のう胞子の飛散は確認されていない(R6:3月6半旬から飛散)。芽基部病斑及び葉、葉柄、幼果等に発生した春型病斑は、見つけ次第、摘み取って園外で処分する(病斑は、次ページの写真1,2参照)。
- (ナシヒメシンクイ対策) フェロモントラップへの初誘殺は4月第1半旬で、前年より早く、平年並となっている。コンフューザーNは平年どおり4月下旬に設置する(参考資料参照)。

1) 薬剤防除

回数	散布時期の目安*1	散布薬剤と希釈倍率	散布量(10aあたり)	対象病害虫	実施日(自己記入)
4	4/22 ～24頃 (受粉後)	デランフロアブル 1,000倍	300 l	黒星病、赤星病、心腐れ症 黒斑病	
	4/25 ～26頃	コンフューザーN 50本/10a 又は ナシヒメコン 100本/10a		ナシヒメシンクイ ナシヒメシンクイ	
※2 5	5/2 ～4頃 (小豆大)	スコア顆粒水和剤 4,000倍 トレンックスフロアブル 500倍 サイアックス水和剤 1,000倍	350 l	黒星病、赤星病 黒斑病、心腐れ症 ハマキムシ類、アブラムシ類 シンクイムシ類、クワコナカイガラムシ	
6	5/12 ～14頃 (大豆大)	ユニックス顆粒水和剤47 2,000倍 アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍	350 l	黒星病、黒斑病 カメムシ類、シンクイムシ類 コナカイガラムシ類	

※1 散布時期の目安は、3回目の防除を4月12～14日とした場合。

※2 前年、心腐れ症の発生が多かった園地では、5月下旬までにトップジンM水和剤(1,500倍、収穫前日まで6回以内、350l/10a)を特別散布する。

2)黒星病対策

- ・黒星病の芽基部病斑及び葉、葉柄、幼果等に発生した春型病斑は、見つけ次第、摘み取って園外で処分する。



写真1 黒星病芽基部病斑
(りん片が脱落しない)



写真2 葉柄に発生した春型病斑

3 今後の管理

<ポイント>

- ・結実を確保するため、今後の天気予報に注意し、適期を逃さず人工授粉を実施する。
- ・開花期間中に霜等、低温に遭遇した場合は、その後開花した花に人工授粉を行い結実の確保に努める。
- ・摘蕾ができなかった場合は、受粉後に摘花、摘果を行い、貯蔵養分の消耗を極力抑える。
- ・①主枝、亜主枝の先端、②予備枝、③長果枝の先端、④小花、⑤短果枝の「無着葉花そう」と「花台が細い弱小花芽」は、全て摘花、摘果する。
- ・なしは、開花期から幼果期にかけて凍霜害に対する耐性が最も低くなる。必要に応じてGW頃まで凍霜害対策を実施する（詳細は前号を参照）。

4 農作業安全～いのちを守る作業安全は全てに優先する～

- ・農作業事故防止のため自園地の危険な場所の把握等、基本的な対策を再度確認し、徹底する。
- ・十分な睡眠をとり、作業前に準備運動を行うことや、作業中は適度に休憩をとるなど、体調管理に留意する。
- ・SSや乗用草刈機、刈払機の整備、点検を行い、トラブルが発生した場合は、必ずエンジンを停止して実施する。
- ・脚立は、チェーンをかけて使用し、最上段には上がらない。

<お知らせ①>

- ・今年も黒星病の調査を行います。実施予定時期は、5月上旬、5月中旬、6月中旬、7月中旬、収穫直前、収穫中、10月中旬を予定しています。調査へのご協力をお願いいたします。

<お知らせ②>

- ・次号は、5月13日頃の発行を予定しています。

<問い合わせ先>新川農林振興センター 宮本 52-5192